

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和2年度学校評価計画

学校名	みやき町立北茂安中学校						
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・将来への夢や進路の目標をもっている生徒は目標の80%を超えることができた。志を高める教育は、ほぼ達成できたといえる。 ・挨拶ができていない生徒や道徳教育が役に立っているという生徒の割合も80%以上の目標を達成できた。心の教育は、概ね成果が出てきているといえる。 ・学習への取り組みが不足しているため学習の成果は目標を下回っている。教科それぞれの指導の工夫と保護者や地域と連携した取組で、学習効果の向上を追求していく。 						
2 学校教育目標	「知性・感性・耐性」を自らたかめる生徒の育成 ～「かしこさ」「よさ・やさしさ」「粘り強さ・たくましさ」をめざして～						
3 本年度の重点目標	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">① 将来へ向けた確かな学力を身につけさせる。</td> <td style="width: 50%;">④ 業務を改善し、教職員の資質・能力を高める。</td> </tr> <tr> <td>② 道徳教育等により、豊かな心を育てる。</td> <td>⑤ 安心安全で生徒が明るく活動する環境を作る。</td> </tr> <tr> <td>③ 生徒自身のたくましい自立と豊かな自律を促す。</td> <td></td> </tr> </table>	① 将来へ向けた確かな学力を身につけさせる。	④ 業務を改善し、教職員の資質・能力を高める。	② 道徳教育等により、豊かな心を育てる。	⑤ 安心安全で生徒が明るく活動する環境を作る。	③ 生徒自身のたくましい自立と豊かな自律を促す。	
① 将来へ向けた確かな学力を身につけさせる。	④ 業務を改善し、教職員の資質・能力を高める。						
② 道徳教育等により、豊かな心を育てる。	⑤ 安心安全で生徒が明るく活動する環境を作る。						
③ 生徒自身のたくましい自立と豊かな自律を促す。							

4 重点取組内容・成果指標				主な担当者
(1)共通評価項目				
評価項目	重点取組 取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師70%以上	・教科担当が校内研の「授業づくり部」の取組にしたがって、 ①「授業づくりのステップ1・2・3」のステップ3に沿った授業展開をする。 ②生徒が見通しをもったり、振り返りができる単元計画を作成する。 ・学年ごとに家庭学習方法を提示して、生徒の学習意欲を伸ばす。 ①学年と各教科担当が連携し、計画的な課題(宿題)を出す。 ②各学年のテスト計画表を比較検討し、新しい計画表をつくり、徹底させる。	学力向上担当 指導法改善担当 教務
	◎学びを支える目的意識や学習意欲の向上	◎目的や目標をもって学びに取り組んでいる生徒80%以上 ◎家庭学習を毎日1時間半以上する生徒70%以上	・校内研究の各部会と教科部会や学年会を通して、授業改善や学習環境に関する課題解決の取組をする。 ・委員会活動の一環として、生徒が自主的に学習するような取組を増やすとともに、生徒の実態を把握し、個に応じた学習課題を提示する。 ・家庭学習の重要性や効果的な学習方法を、学活や学年集会、保護者会などの機会を捉えて的確に伝える。	
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	◎道徳の授業が役に立っているという生徒80%以上	・道徳授業の年間計画を教科横断的なカリキュラムマネジメントの視点で見直す。 ・TTや輪番による授業を計画し、「伝え合う」場面の工夫、適切な見取りによる評価を行う。	道徳教育担当
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	◎学校がいじめ防止に取り組んでいると思う生徒90%以上	・いじめの未然防止のため、人権啓発に関する話やいじめ防止につながる話を、担任等が月に1回以上授業等で行う。 ・隔週でアンケートを行い、生徒の抱える問題を早期に発見し、早急にチームで対応する。	人権・同和教育担当 生徒指導担当
	○「耐性」を高める教育の実践	◎難しいことやつらいことに粘り強く取り組んでいる生徒80%以上	・日常の学校生活の中で、身だしなみの徹底、自問清掃の強化、時間を守る、あいさつをする、学習習慣の定着、に力を入れる。 ・部活動を、「忍耐力や向上心を培い、達成感や成就感を味わう」ことのできる教育的意義をもつ活動ととらえ、全職員で取り組む。	特別活動担当 学年主任
●健康・体づくり	●「安全に関する資質・能力の育成」	●児童生徒の交通事故を0(ゼロ)にする	・毎月1日、20日の、朝の交通指導を確実に実行し、振り返りを共有する。 ・交通教室や下校指導週間を設定し、交通マナーの向上を図る。 ・定期的な自転車の安全指導および自転車点検を実施する。	安全教育担当
	○感染症予防対策の徹底	◎新型コロナウイルスの校内感染を0(ゼロ)にする	・密閉した空間、密集した状態、密な接触を回避した環境をつくる。 ・放送や掲示物により、感染症に対して正しい知識をもたせる。 ・消毒液の設置、施設の消毒などを行う。 ・毎朝の検温、石けん手洗い、マスク着用の徹底を周知する。	保健指導担当 保健主事
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・報連相を徹底し、無駄な時間をつくらない。 ・優先順位を分ける習慣を身につけさせる。 ・タイムマネジメントの研修を行い、勤務時間の適正な自己管理促し、日々の業務にゴールを設定して取り組ませる。	教頭、教務主任
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				主な担当者
評価項目	重点取組 取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	
○教職員の資質・能力の向上	○教職員の経験や役割に応じた資質・能力の向上	○自分の資質・能力が向上したと思う教職員75%以上	・教育センター研修、研究発表会、授業公開に各自1回程度参加し研修を深める。 ・校内研究会を軸に授業研修を進め、1人1回公開授業を行う。 ・学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を、月ごとに振り返らせ、達成に向けての意識付けを行う。	

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	・ ・ ・
----------------	-------------